

Challenge Road



学校法人 トヨタ名古屋整備学園
専門 学校 トヨタ名古屋自動車大学校

〒452-8567 愛知県西春日井郡春日町落合一番割1
TEL:052-400-3611 FAX:052-400-3615
学校新聞編集局 発行責任者 池山 和徳

SINCE 1961



Vol.7

URL <http://www.toyota-tn.ac.jp> E-mail gakuseibu@toyota-tn.ac.jp

第10回学園祭開催!!



学園祭委員長
自動車整備科 2年 中矢 一歩
多くの仲間と学園祭を運営したことで学生時代のいい思い出が作れました。



学園祭担当
浅野 忠伯 先生

11月3日(土)、4日(日)の2日間にわたり「飛躍」を学園祭のテーマとし、第10回学園祭を盛大に開催しました。今年度から、自治会にも新たにJumpsというニックネームがつき、いつもより早くから準備を始めました。学園祭では、2日間に渡りZIP-FMでおなじみの南城大輔さんにナビゲーターをお願いし、大変盛り上がり、華やかなうちに学園祭を終えることが出来ました。来場者も2790名と、歌手の川嶋あいさんをお迎えした一昨年にほぼ匹敵する方にご来校いただきました。

新企画

2000GTがやって来た!



名古屋トヨペット株式会社様のご協力により、伝説のクルマ「2000GT」の車両展示を実施しました!大勢のお客様が記念撮影をしていました。2000GTといえば、高度なメカニズムと流麗なデザインを兼ね備えた画期的な車であり、性能面でも世界水準に達したことで、日本車の歴史上、記念碑とも言える伝説的な名車です。

新企画

映画上映「ゼロからの風」!!



交通事故によって突然奪われた最愛の息子の人生を代わりに生きようと決心した母親が、軽すぎる刑法と厳しい現実にも屈せず、法律を変え(危険運転致死傷罪の新設)、息子の代わりに早稲田大学に入学するという前向きな姿勢は多くの方の感動を誘いました。

新企画

ウルトラヒーローとの撮影会&握手会!!



学園祭にウルトラマンやウルトラマンコスモスが登場するとあって、各撮影会の開始時刻前にはたくさんの親子連れが長蛇の列となり盛り上がっていました。ウルトラマンに抱っこをしてもらったり、一緒に記念撮影をしたり、お子様連れのファミリーには大好評でした。

新企画

なぜなにレクチャー開催!



子供たちに、実験や工作を通じて「科学の楽しさ」や「モノづくりの大切さ」を体感してもらうことを目的に、トヨタ自動車(株)社会貢献推進部様の協力を得て、小学生を対象に「なぜなにレクチャー」を開催いたしました。37名が参加し食い入るように取り組んでくれました。

新企画

ZIP-FMナビゲーター 南城大輔さん大活躍!!



第10回学園祭ではスペシャルゲストとして、「トヨタ名古屋自動車大学校 テクニカルマスター」(ZIP-FMにて毎週木曜日 PM8:00より絶賛放送中!)で、ナビゲーターを担当していただいております南城大輔さんに学園祭(2日間)をサポートしていただき、臨場感あふれるナビで大変盛り上がりしました。

新企画

盛り上がった高校生自動車クイズ大会!!



11月3日(土)、第1回高校生自動車クイズ大会(熱闘自動車甲子園)を行いました。愛知・岐阜・三重県下の自動車科を持つ5校の高等学校から8組16名の生徒さんをご招待し開催しました。

優勝校・名古屋市立工業高等学校
川上慶大君 森本和磨君

練りに練った研究発表!!



今年の研究発表は、「車を楽しむ」ということをテーマに、お客様が全ての研究ブースにおいていろいろな体験をしていただくことで、車に興味を持っていただく内容としました。

俺達の実力を見てくれ!整備コンクール!!



整備コンクールとは、日頃の勉強で学んだ知識・技術を発表する場として、多くの観客の中で技術レベルを競う競技です。予選は1人1セッションを担当するリレー方式、決勝は3人1組のチーム方式で行ないました。

郷土色満載の模擬店!!



模擬店は、県人会や有志チームなど、各地の特徴を生かした模擬店が揃います。30店の模擬店のうち宮崎地鶏の店が人気を集めていました。ラテン系でノリノリのブラジルコースでは名物「シラスコ(バーベキュー)」の模擬店を出しました。毎年大好評ですよ。

1年の部 優秀賞
「スタータを人間でやってみる」
自動車整備科 1年

3・4年の部 優秀賞
「バイオディーゼルや粗悪ガソリンについて」
高度自動車科 3年



2年の部 優秀賞
エアブラシ塗装体験 リーダー
自動車整備科 2年 神田 悠吾
お客様との対応能力が向上できました。



3・4年の部 優勝
チーム「自由奔放Part II」リーダー
高度自動車科 4年 岩田秀之
声を枯らして応援してくれたみんなには感謝の気持ちで一杯です。

1年の部 優勝
チーム「エレキ河村」
自動車整備科 1年
2年の部 優勝
チーム「整備士の王子様わーさん」
高度自動車科 2年

OB・OG紹介

当校1970年卒(10期生)で、ネットヨタ岐阜株式会社の代表取締役社長として活躍されている林様へ、学生時代のエピソードや当校の学生への期待などについて語っていただきました。



ネットヨタ岐阜株式会社 代表取締役社長

林 澄夫様

(岐阜県立益田高等学校:現 益田清風高等学校出身)

●トヨタ名古屋自動車大学校へ進学を決めた理由

大学かトヨタ名古屋校にするかで悩みましたよ。私が高校生の頃、大学は学園紛争の時代で荒れていましたね。ただ何と言っても、自動車産業が急速に伸びていたということが、

トヨタ名古屋校に決めた理由ですね。それから、高校の担任からの薦めもありました。

●学生時代のエピソード

学生寮では4人部屋でしたよ。この相部屋の友人が非常に勉強家でした。就寝時間になっても一人で月明かりの中、勉強するくらいのヤツでした。だから、ものすごく影響を受けました。俺も一生懸命勉強してやる!ってね。絶対に負けたくない!ってね。そんな強い思いを胸に必死に勉強した結果、相部屋の友人に勝つだけではなく、学年で1番になることができました。近くにライバルがいたから、人一倍頑張れたんだと思います。相部屋の友人には感謝していますよ。

●仕事にまつわるエピソード

就職して間もない頃、チャージランプが消えない、という症状のある車の整備をする機会がありました。その症状に対して先輩方が悩んでいたとき、充電回路を頭に描き不具合部品を的確に言い当て直したということがありました。これをきっかけに先輩方に認められました。その時、トヨタ名古屋校卒ということに誇りを感じましたね。

●仕事上のモットー、信念

経営の根本は現場にあると考えておりますので、私は時間を作って店舗廻りをするように心掛けています。トヨタ自動車の

Past Students

“現地現物主義”ですよ。“企業は人なり”という言葉がありますが、現場を理解した上で、社長としての考えをいかに伝えるかが大切だと考えています。組織としてベクトルを合わせて進んでいく必要がありますからね。店舗廻りをしているの、当社で社員の顔と名前を一番知っているのは私だと思います。

●トヨタ名古屋自動車大学校の学生へ期待すること

トヨタ名古屋校の学生さんに対しては、技術力は当たり前ですが、“お客様への気配り力”を期待していますし、評価しています。私も学生の頃、随分叩き込まれました。ちなみに、当社はトヨタ業務検定1級の取得状況は全国でもトップレベルです。整備技術とともに接客対応能力を重視しているからです。皆さんも接客対応能力を身に付けたサービスエンジニアになって下さい。



ネットヨタ岐阜株式会社 本社 岐阜県羽島郡岐南町三宅4丁目81番地

先生紹介

自動車整備科 向山 拓志先生



当校を卒業し教員として勤務、早や36年、現在自動車整備科1年生の駆動教科を担当するなかクラス担任もしております。私の青春は職員寮に入り、学生と共に学び、悩み、遊んだことに尽きます。今その教え子のご息子が毎年入学してきますが、親として私に「毎日大変だったが、電車から見る学生寮のトヨタの看板のネオンサインを見るたびに胸を熱くしたことが忘れられない、先生うちの息子を頼んだよ」との言葉に教員としての生きがいを感じております。現在学校は自動車大学校となり、最新の設備と教材そして校舎、また一人一人の個性を開花させる教育システムも完成していますが、当校の歴史の底流にあるものはチャレンジ精神にあふれた学生を私たち教員が体当たりで共に新たな道を開いてきたことだと思っています。これからも「生涯現場の教員」の精神で頑張っていきます。

高度自動車科 早川 哲也先生



現在は高度自動車科3年を担当しております。3年生は全員が2級の国家資格取得者のため、わかりやすい授業というより、できるだけ深い内容の授業ができるよう努力しています。鋭い質問や意見が学生から出ることに、大変やりがいを感じ、うれしく思う反面、自身の勉強を怠らぬように肝に銘じております。また、クラスの多くの学生が産能大学を併修しており、コミュニケーション力やマネジメントスキルなど、仕事に役立つ内容も同時に履修でき、それによって成長できる大きさは計り知れないものがあります。二足のわらじを履いているので大変ではありますが、目標を持った学生のやる気はただすごい一言です。彼らの意欲に応えられるよう、私自身も精一杯の努力をしたいと思います。

meet the teachers

NEWS FILE

●自動車技術講演会開催!

【史上初!パリダカールプロダクショングループ3連覇への挑戦】6月7日(木)、世界一過酷なラリー、パリダカールラリー(通称パリダカ)でご活躍された、トヨタ車体株式会社専務取締役 TLCチーム代表 森田寿一氏、トヨタ車体株式会社 総務部 3号車ナビゲーター 荒川大介氏、東京トヨペット エンジニア 小林義夫氏の3名をお招きし、「史上初!パリダカールプロダクショングループ3連覇への挑戦」と題した自動車技術講演会を開催しました。パリダカ 市販車無改造部門 3連覇(2005~2007)!!という偉業を成し得た際の苦労話やラリーの過酷な状況下における人と人、人と車との関わり方やこれからも挑戦し続けるチャレンジ精神など、実体験に基づいた話をして頂きました。また当日は、実際にパリダカールに参戦したランドクルーザー100が展示され、学生達は興味深げに構造研究をしていました。



●川嶋あいさんと当校学生との対談を実施!

10月17日(水)、若者に人気の女性アーティスト(当校のイメージソングを制作)、川嶋あいさんと、全国各地から夢を追いかけて当校に集まった在学生(6名)が熱いトークを繰り広げました。題して、「Shining Talk 夢を語ろう」路上ライブ1000回、渋谷公会堂でのライブ実現など、今まで辿ってきた道のりを語る川嶋さんの言葉に聞き入る学生たち。川嶋さんも、彼らが今もがいていることや夢の話に「みんな個性的。自分を持っている。自分の成長のためには、何よりも仲間を大切に」とエールを送りました。



●川嶋あいさんと当校とのタイアップの軌跡

- 2006年・学園祭ライブコンサート開催
11月(於 当校学生会館アリーナ)※学生・一般計1000名来場
- 2007年・当校イメージソング作詞・作曲・レコーディング
3月 ※入学式にて披露。CDを在校生、学校関係者、販売会社などに配布
- 5月・当校募集パンフレットに肖像ならびに本人キーワード「夢に向かって生涯チャレンジ」を掲載
- 6月・当校応援ポスターとして、肖像ならびに本人キーワード「夢に向かって生涯チャレンジ」を使用し、当校施設に掲示
- 7月・ZIP-FM「テクニカル マスター」ラジオCMオンエア
- 9月・東海ラジオ、岐阜放送、静岡放送「川嶋あい On The Street」ラジオCMオンエア
- 10月・当校学生(6名)との対談「Shining Talk」実施

イメージソングCDプレゼント

※お1人様1枚となります。

ご希望の方は2008年2月末までに郵便ハガキに送付先を明記の上、当校までお申し込み下さい。



※写真はイメージです。

就職支援活動

Career Counseling

万全の就職指導！だから就職戦線を勝ち抜ける！！

● 校内就職セミナー(7月)



平成19年は自動車整備科1年生と高度自動車科3年生と個別にセミナーを実施しました。内容は夏以降の就職活動に役立つ目的で、外部講師を招いての開催。特に自動車整備科の1年生は入学後3か月のタイミングでの活動になりますが、この早期活動が後の就職活動に大きく影響してきます。販売会社の採用担当者様からは、就職活動のコツや在学中に学ぶマナー教育の必要性等を分かりやすくお話いただき、当校の出身で販売会社で活躍中の若手エンジニアから販売会社での業務や組織、会社選びのアドバイスなどをしていただきました。最後に在学中の先輩からの、就職活動における対処や準備についての体験談に、1年生は身を乗り出すようにして聞き入った。このセミナー後、学生達は就職相談室で各社への資料請求や会社説明会の申し込みをはじめ、連日、大盛況となった。

● マナー講習(11月)



11月に、自動車整備科1年生を対象にマナー講習を実施しました。就職活動の本格化を前に外部講師を招き、面接試験に的を絞った内容で実演も含め実施。今後、就職面接試験で、自己PRができるように、また、失礼がないよう、いくつかのポイントを伝授され、学生たちは改めて面接試験の重要性を実感したようです。この講習を十分に生かし、就職活動に望み、持てる力を存分に発揮して欲しい。

● インターンシップ(夏休み)



販売会社を中心に夏休みを利用した販売会社でのインターンシップを実施しました。実施規模は過去最高の252社にて903名が参加。自動車整備科の1年生は3日間程度、企業研究や職種に対する理解と今後の勉強意欲の向上を目的に、2年生は6日間程度、就職内定会社にて、本格的なサービス業務の体験により技術力の向上と修学意欲の向上を目的に実施しました。本年も猛暑の中での作業で大変だったと思われるが、学生の報告では、「学校での作業と現場でのプロの作業スピードの違いを実感した」「実際に走行しているお客様の車を触るのが初めてで、緊張した」「安全作業の大切さを実感した」等の感想があり、今後の勉強に向け、有意義な時間を過ごせたようです。お忙しい中、快く学生を受け入れていただきました各社の皆様に、改めて感謝申し上げます。

● 企業説明会(11月・12月)



11月下旬から12月初旬にかけ4日間、自動車整備科1年生と高度自動車科3年生を対象に校内企業説明会を実施しました。トヨタ・ダイハツ・日野自動車販売会社、トヨタ自動車はじめトヨタ関連企業の採用担当者様をお招きし、各社の特徴を学生が確認すると共に自己アピールできる場として行いました。これまで就職セミナーや会社訪問、マナー講習等の就職活動を実施してきて、いよいよ就職希望先を決定する重要な説明会となりました。当日、大変お忙しい中にもかかわらず、遠方よりご来校いただきました各社のご担当の皆様に感謝いたします。

クラブ活動

Club Information

自動車部 『祝 優勝！ 自動車部快挙達成！！(ワン・ツー・Finish)』

ゼロハン部門 自動車整備科 1年 田中 直樹

自動車部の1年生ドライバーとして、8月18日(土)～19日(日)の2日間に渡り、広島で行われたゼロハンカーレースに参戦させて頂き、1位の先輩に次いで学生クラス2位の成績を収める事ができました。レース本番の予選では部品が曲がってヒヤッとする場面もありましたが、会場で補強することで、トラブルも無く無事予選を通過する事ができました。決勝では、予選を勝ち抜いた速いバギーと対等に戦えるか心配でしたが、練習を積んだスタートは無事成功し、そのリードを保ったままゴールする事ができました。先輩にはかなわず残念ながら2位になりましたが、次回までに更に練習を積んで、先輩に迫るテクニックを身につけ、マシンも更なる改良を重ね、学生部門以外でも優勝したいと思っています。このレースを通じて、チームワークの大切さと、レースや整備の面白さを知る事ができ、とても良い経験になりました。一生の思い出になると思います。



ゼロハンカーとは:
50CCのミニバイク用エンジンを自作のフレームに搭載したレース専用車両のこと

卓球部 10年連続全国大会出場！

9月7日(金)に愛知県専修学校各種学校連合会卓球大会に12名が出場しました。この大会は、12月に東京で行われる全国大会の選抜も兼ねており、チーム全員が「全国へ!」という気持ちで挑みました。結果、全国大会へは愛知県代表男子メンバー計9名の中で5名が出場することになり、団体戦は3連覇を達成しました。この結果は日々の練習の努力で勝ち取ったものだと思います。団体戦を制した勢いで、全国大会でも優勝を目指して頑張ります。



● 学校がより快適空間としてリニューアル！ 19年度に入り、事務所の拡張工事や校内諸設備の改善を行いました。



イルミネーション点灯

玄関前庭園にLEDの電飾を施し、夕暮れ時は幻想的な雰囲気を出しています。



事務所拡張

職員の業務効率向上を図るために事務所の拡張工事を行いました。また、お客様が来校された場合にすぐ対応できるよう、そして、防犯上にも効果がある開放型の受付としました。



駐車場拡張

手狭になってきた校内駐車場を拡張し、新たに24台分の駐車スペースを確保しました。



飛散防止フィルム貼り

東海地震などに対して万全な体制(総予算2000万円)を整える一環として、全ての窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ることを3か年計画として推進。平成19年8月をもってすべて完成しました。

教室のエアコンを更新

学科棟5階よりエアコンの更新をはじめました。平成19年のエアコンの更新は学科棟5階のみでしたが、他のエアコンも順次更新していきます。

学科棟廊下及び階段の改修

学科棟廊下の壁を補強するためにプレートを貼りました。さらに、階段のビーターの洗浄も行いました。これにより、廊下全体が明るくなり新鮮な感じとなりました。

学生トイレ改修

学科棟の学生トイレを改修しました。平成19年の改修は学科棟2階のみでしたが、他のトイレも順次改修していきます。

自販機のごみ箱

環境への取り組みの一環で校内の自販機の横に設置しているごみ箱を完全分別タイプに一新しました。

今後も引き続き、学生満足度の向上を図るため、就職相談室・保健室・職員室の改修を進めていきます。



カナダ留学「本物の英語に触れた1ヵ月」

自動車整備科2年 寺嶋 健佑

カナダでの生活は、午前には英語の授業。もちろん英語だけで。午後は板金の授業でした。休日はホストファミリーと過したり、友達と遊びに行ったりしました。毎日がとても新鮮であつたという間に1ヵ月が過ぎていきました。最終日の夜にホストファミリーから「最初の頃より、とても英語がうまくなったよ」といわれ、自分ではあまり変わってないと思っていたので、なんだか嬉しい気持ちになりました。日本に帰ってくると一気に現実に戻ったような感じがしました。最近では本当にカナダにいたのかと思う時があり、何だか不思議な感じがします。カナダでの1ヵ月間は、今までの人生の中で一番充実したものだったと思います。ホストファミリーには、今でも本当に感謝しています。



レストアの様子



カナディアンロッキーにて

過去最高人数

カナダ留学生を引率して(カナダ オカナガン大学)

増田 靖隆先生 山崎 敬介先生

カナダ オカナガン大学において7月29日(土)~8月26日(日)の期間でカナダ留学を実施しました。平成19年度は過去最高人数となる47名(自動車整備科2年生36名、高度自動車科2年生9名、高度自動車科3年生2名)が参加し、板金技術や英語の勉強を行って参りました。板金授業に関しては実際の自動車からドアなどを取り外し、錆びが発生しているという想定で修理をするという簡易レストアを行い、非常に満足度の高い内容となりました。また、英会話クラスにおいては、「サバイバルイングリッシュ」と称して自分で買い物や食事ができるよう、またホストファミリーとのコミュニケーションがうまく取れることを中心に行われ、はじめはなかなか意思がうまく伝えられなかった学生たちも、中盤あたりからメキメキと実力を伸ばし、カナディアンライフを一杯楽しんでいたのが印象的でした。今回の留学では、学生たちは当校で学ぶだけでは得ることのできない貴重な経験をしました。この経験を生かしてこれからの国際化社会に積極的に関わっていく人材になってくれることを期待します。

異文化体験! 超充実のヨーロッパ研修!! (7泊9日)

大橋 登先生

高度自動車科3年生(19名)と高度自動車科4年生(20名)の合計39名により11月15日(木)~23日(金)までの日程でヨーロッパ研修を実施しました。訪問国は、チェコ、フランス、ベルギー、ドイツの4カ国で、日本ではまだ紅葉の時期でしたが、ヨーロッパはもう既に冬の装いで、チェコでは雪が積もっているところもありました。

研修の目的は、異文化に触れることでの人間性および見聞の拡大と、自動車産業の違いを知ることで知識の拡大および理解であり、特に歴史的文化を重んじる風土と環境への意識の違いを知ることができたのではないかと思います。欧州での自動車の特徴は、CO2削減への意識が高いため、小型車やディーゼル車、マニュアルトランスミッション車の割合がとても高いことです。また、市街地では石畳の道が多く(修復し、また復活もさせている)、ロータリー式の交差点の多さを実感しました。

自動車関係では、チェコのTPCAにてトヨタのアイゴ、プジョーの107、シトロエンのC1を同一ラインにて生産している工場を見学し、ドイツではトヨタのF1マシンの開発拠点であるTMG、ベンツの博物館やSクラスなどの生産工場を見学しました。中でもベンツの工場では、プレス工程や溶接工程なども今までになく間近で見ることができ、実際にプレス機の振動・音を体で感じながら見学できたところが印象強かったようです。また、TMGでは通常では見学できない風洞実験室や開発までの説明を興味津々に受け、そのすごさに圧倒されているようでした。ベルギーのTMEでは欧州での自動車市場およびトヨタ車の販売などについての説明を受けました。欧州のトヨタユーザーはリピーターが多く、シェア拡大にはCS向上が不可欠であり、そのためのサービススタッフに対する期待の大きさも実感でき、使命感を感じてくれたと思います。

観光は、チェコではプラハ城、フランスではパリ市内観光と「モナリザの微笑み」「ミロのビーナス」で有名なルーブル美術館、ベルサイユ宮殿、ベルギーではグランプラスや小便小僧、ドイツではケルン大聖堂などを観光しました。今回は、訪問地が多く自由散策の時間があまり取れなかったため、学生からは「自由散策時間がもっと欲しかった」との意見が多かったが、自律的に行動したい学生の多さに頼もしさも感じられた研修でした。

最後に、ヨーロッパと言ってもEU加盟国でも27カ国あるほんの4カ国の訪問でしたが、異国の文化・風土を現地で感じ取ることで更に日本の文化・風土を見直すことができたと思います。多様性の理解、更なる積極的な行動で、今後の人生に役立つ第一歩になればよいと思います。

- 訪問国
 - ・チェコ
 - ・フランス
 - ・ベルギー
 - ・ドイツ
- 主な観光先
 - ・プラハ城および市内観光(チェコ)
 - ・ルーブル美術館およびパリ市内観光(フランス)
 - ・ベルサイユ宮殿(フランス)
 - ・ブリュッセル市内観光(ベルギー)
 - ・ケルン大聖堂(ドイツ)

- 工場見学などの主な見学先
 - ・TPCA(トヨタチェコ工場)
 - ・TME(欧州トヨタ本社:ベルギー)
 - ・TMG(トヨタモータースポーツ:ドイツ)
 - ・ドイツのトヨタ・レクサス販売店
 - ・ダイムラーの工場・博物館(ドイツ)



F1マシンの開発拠点TMGにて(ドイツ)



プラハ城を背景に(チェコ)

ブラジルコース8期生修了式&9期生開講式

在日ブラジル人自動車整備工養成科8期生の修了式が8月3日(金)に行われ、20名が修了しました。この修了式にはブラジル大使館、在ブラジル名古屋総領事館、及び豊田市国際交流協会などから来賓を迎えて華やかに行われました。このコースは平成11年よりトヨタ自動車株式会社の社会貢献活動の一環として当校(付帯事業)にて行われております。在日ブラジル人の子弟を対象(ポルトガル語による授業)とし、実践力を身につけたエンジニアを育成し、修了後は修得した自動車整備の技術と知識を本国ブラジルで発揮することを期待したものです。今年の20名の修了生を含めると、合計161名がこのコースを修了しました。また、9月3日(月)には9期生の開講式が行われ、選ばれた20名が新たにエンジニアを目指してスタートを切りました。



Information

オープンキャンパス

◆学校見学会 3月25日(火)
3月29日(土)
百間は一見にしかず!



見学のみも随時受付中!

2008年4月入学生募集中

全員が学科、実習とも基礎から学べるため、無理のないステップアップが可能に。誰でも「自動車整備」のスペシャリストをめざすことができます。自動車に関する専門技術教育と企業ニーズにあった職業教育をおこなっています。

- 入試日程 **また間に合う!**
- ◆自動車整備科...〈一般入試4回〉
1月26日(土)
〈一般入試5回〉
2月23日(土)
24日(日)
- ◆高度自動車科...〈一般入試4回〉
3月 8日(土)



今後のおもなスケジュール

- ◆卒業研究発表(高度自動車科)
1月16日(水)・17日(木)
- ◆1年定期試験(自動車整備科)
1月22日(火)~1月30日(水)
- ◆2年定期試験(自動車整備科)
1月22日(火)~1月29日(火)
- ◆卒業式及び終業式
3月19日(水)
- ◆自動車整備士登録試験
3月23日(日)
- ◆始業式 ◆入学式
4月7日(月) 4月8日(火)